

【報告書】

会員調査2019

Ⅲ. 各項目の回答結果

1. ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法領域の実践の状況

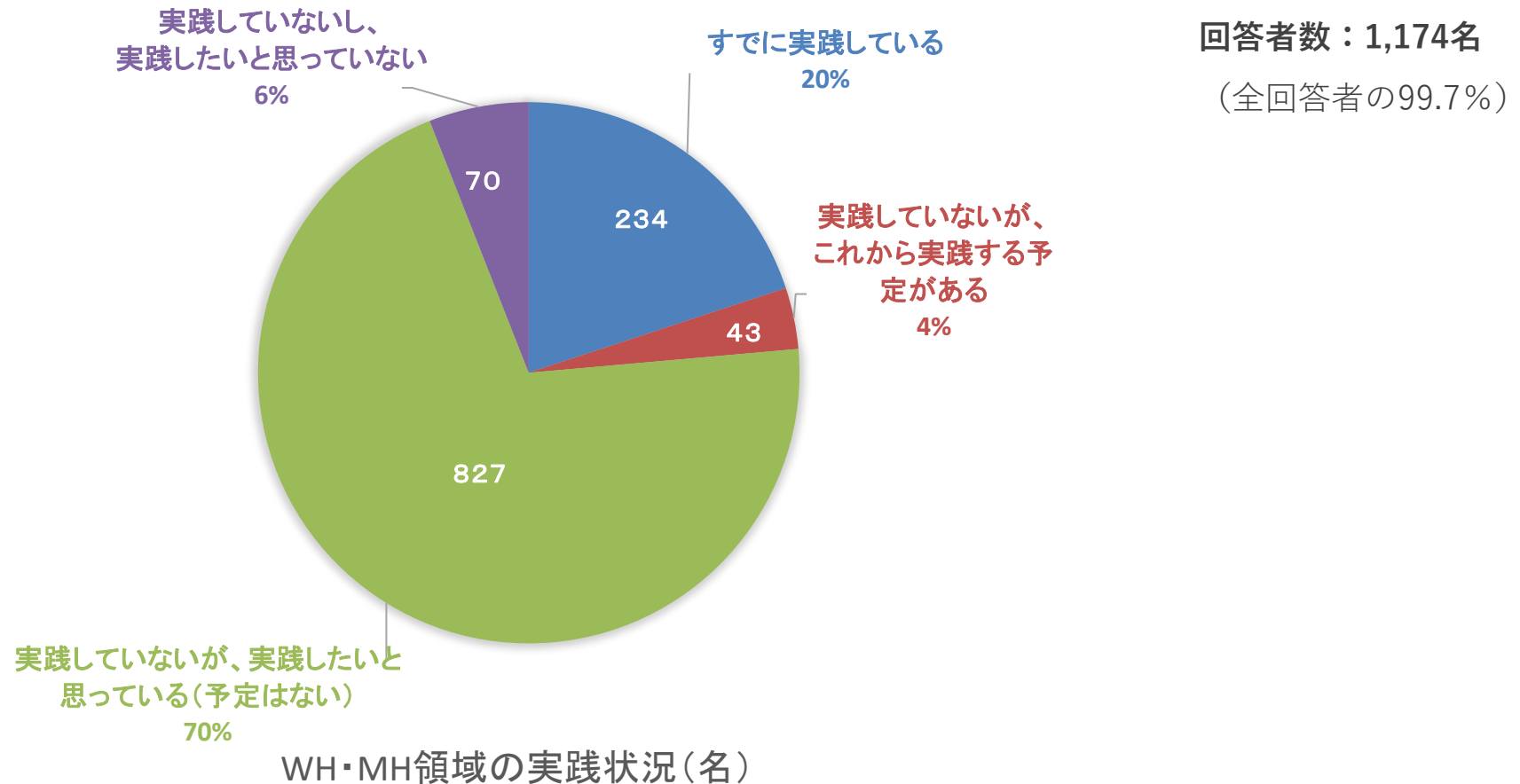
日本理学療法士学会

ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門

Ⅲ. 各項目の回答結果

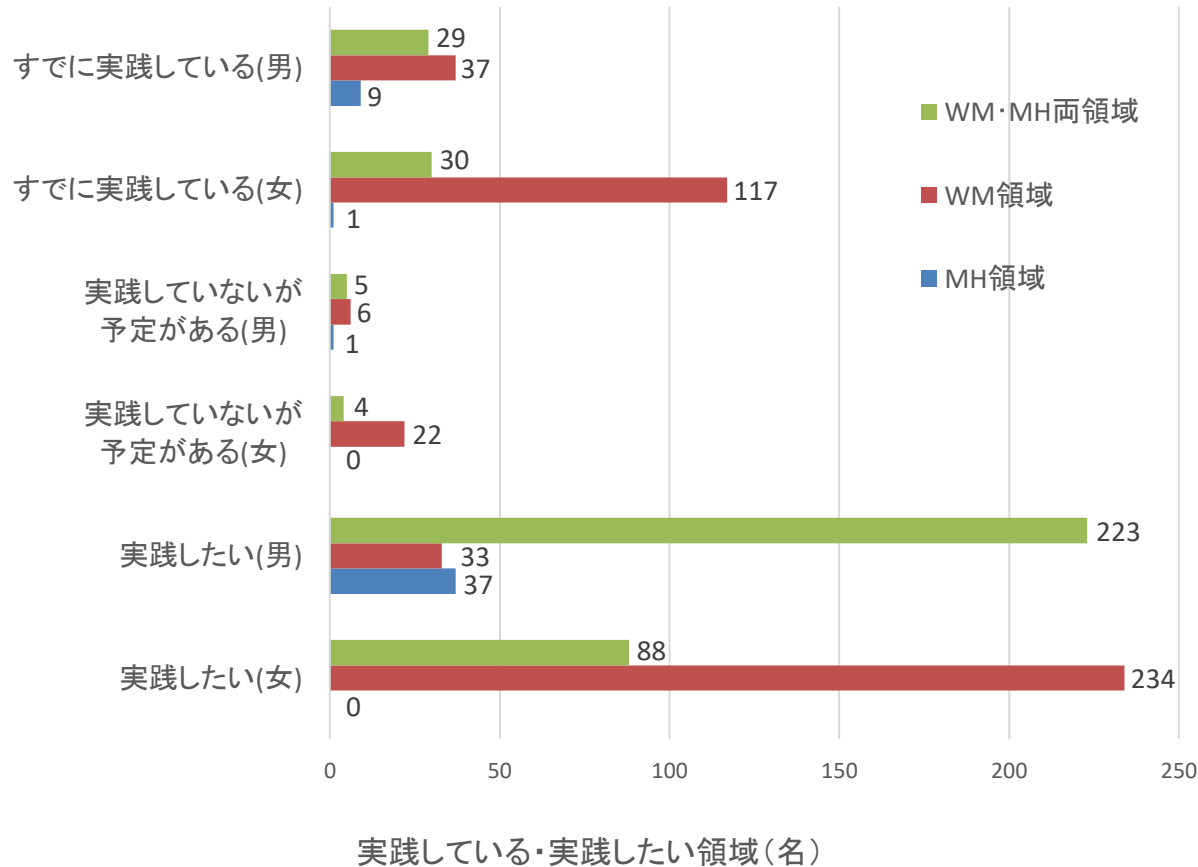
1. ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法領域の実践の状況

1) WH・MH理学療法の実践状況



回答者のうち、すでに実践している人は、約20%にとどまり、今後実践したいと思っている人が約70%であった。

2) 実践している・実践したい領域



対象者数: 1,108名※

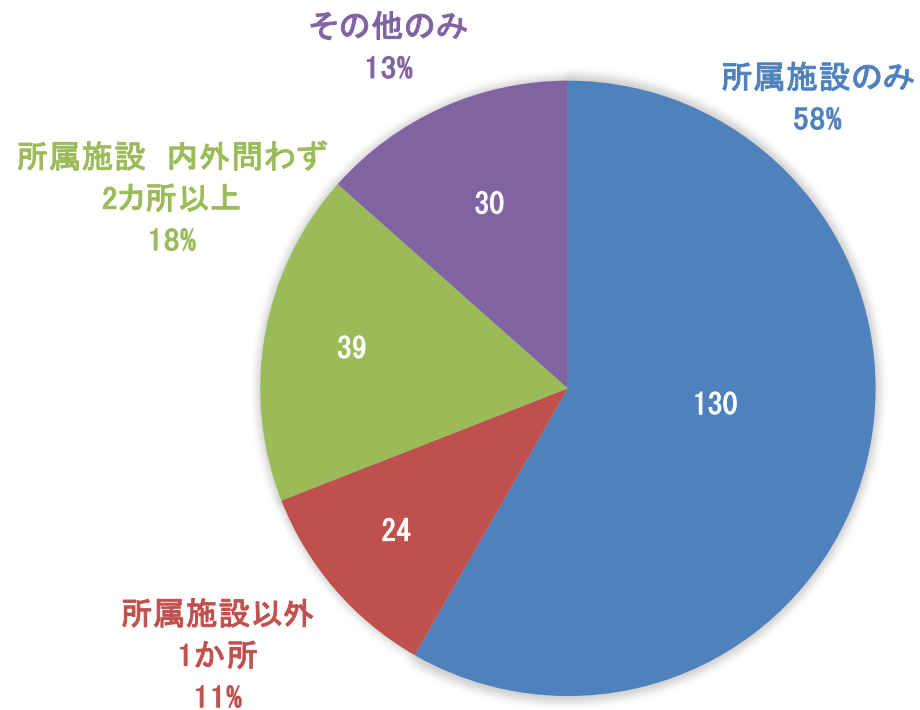
※実践したいと思わないと回答した70名を除く

回答者数: 885名 (79.9%)

- ・ ウィメンズヘルス(WH)領域—451名 (51.0%)
- ・ メンズヘルス(MH)領域—48名 (5.4%)
- ・ WHMH両領域—386名 (43.6%)
- ・ すでに実践している女性(148名)の79.1%、実践したいと思っている女性(322名)の72.7%がWH領域と回答
- ・ 実践したいと思っている男性(293名)の76.1%がWH/MH両領域と回答

総数では、ウィメンズヘルス領域に興味を持つ人が多い傾向が見られたが、実践の状況や性別で興味を持つ領域に差が見られた。

3) 実践している施設



実践している施設の割合(名・%)

対象者数:234名 ※すでに実践していると回答した人

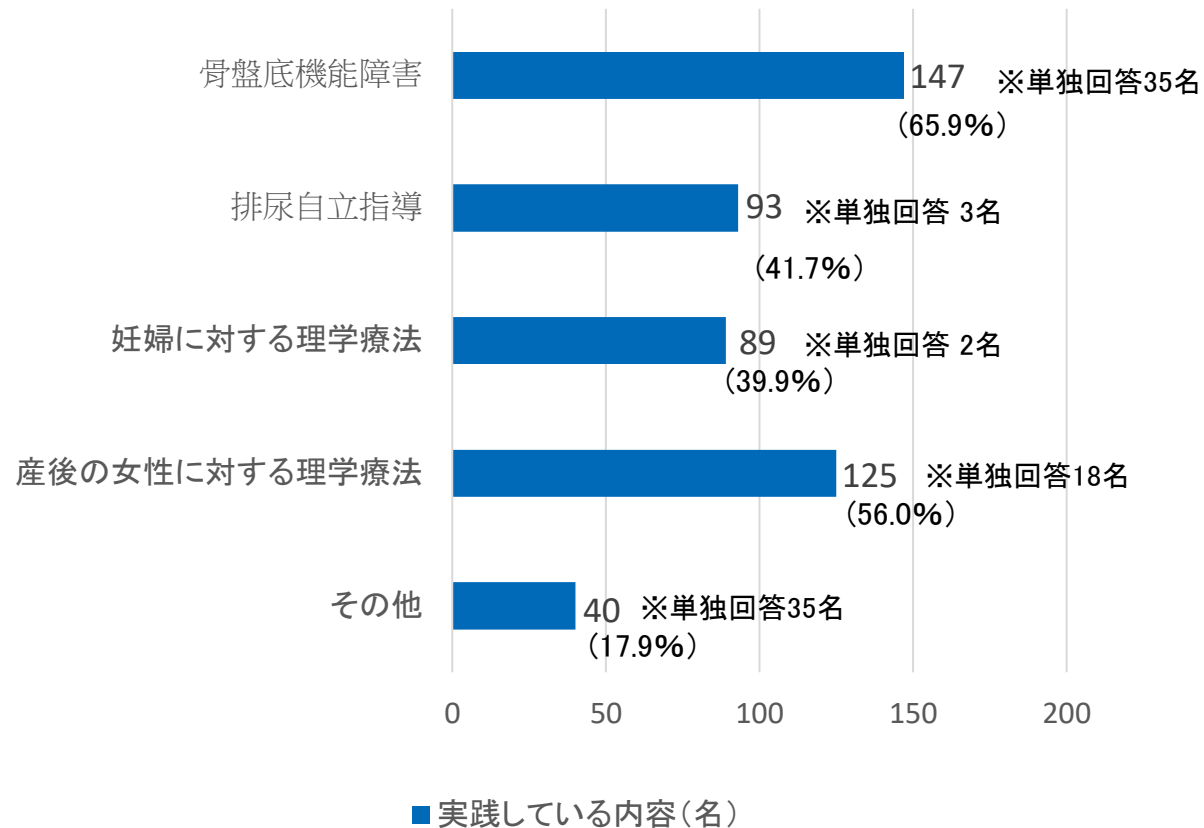
回答者数:223名(全回答者の18.9%)

「その他」の内訳 ※複数回答 ()内はその他への回答数

- ・ 地域での活動—35名(16名)
- ・ 産婦人科(クリニック等)—16名(3名)
- ・ 行政—10名(6名)

「所属のみ」のうち急性期73名、クリニック28名で医療施設が回答者の49.3%だった。「地域での活動」は総数で35名(15.7%)が関わっている。

4) 実践している内容



対象者数: 234名 ※すでに実践していると回答した人

回答者数: 223名 (全回答者の18.9%)

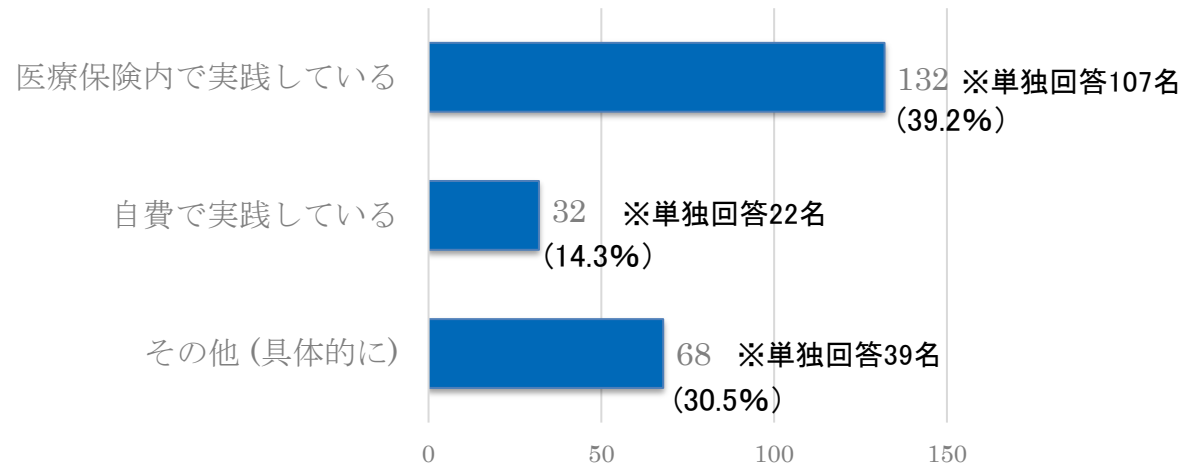
《その他のみの内訳》※複数回答

- ・骨盤底機能に関すること 12件
- ・乳がん。リンパ浮腫関連 8件
- ・産前産後 6件
- ・ウィメンズヘルス全般 11件
(女性アスリート、月経痛、更年期等)
- ・メンズヘルス関連 3件 等

※その他のみの記載18件、複数回答32件

骨盤底機能障害については約24%が単独で実施しているが、その他は複数の領域について実践していることが示された。

5) 実践している状況について



■ 実践している状況 (名)

対象者数: 234名 ※すでに実践していると回答した人

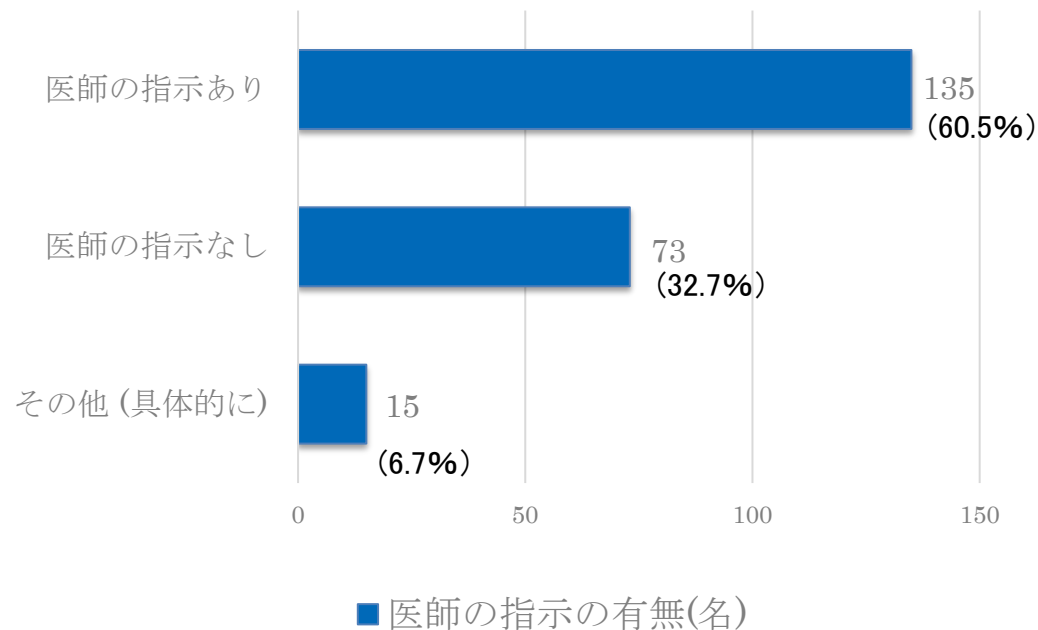
回答者数: 223名 (全回答者の18.9%)

《その他の内訳》 ※複数回答

- ・ 無料・無償での対応 15件
- ・ 行政関係 9件
- ・ 研究 6件
- ・ 介護保険内(デイケア含む) 6件
- ・ 教室開催や講演での指導 6件
- ・ 産科の入院サービス等の一環 5件
- ・ 助成金や都道府県士会予算、参加費の徴収等の財源

医療保険内での対応が半数を上回っているが、その他では無料や無償での対応を含む様々な形での活動が展開されていることが伺える。

6) 実践する際の医師の指示について



対象者数: 234名 ※すでに実践していると回答した人

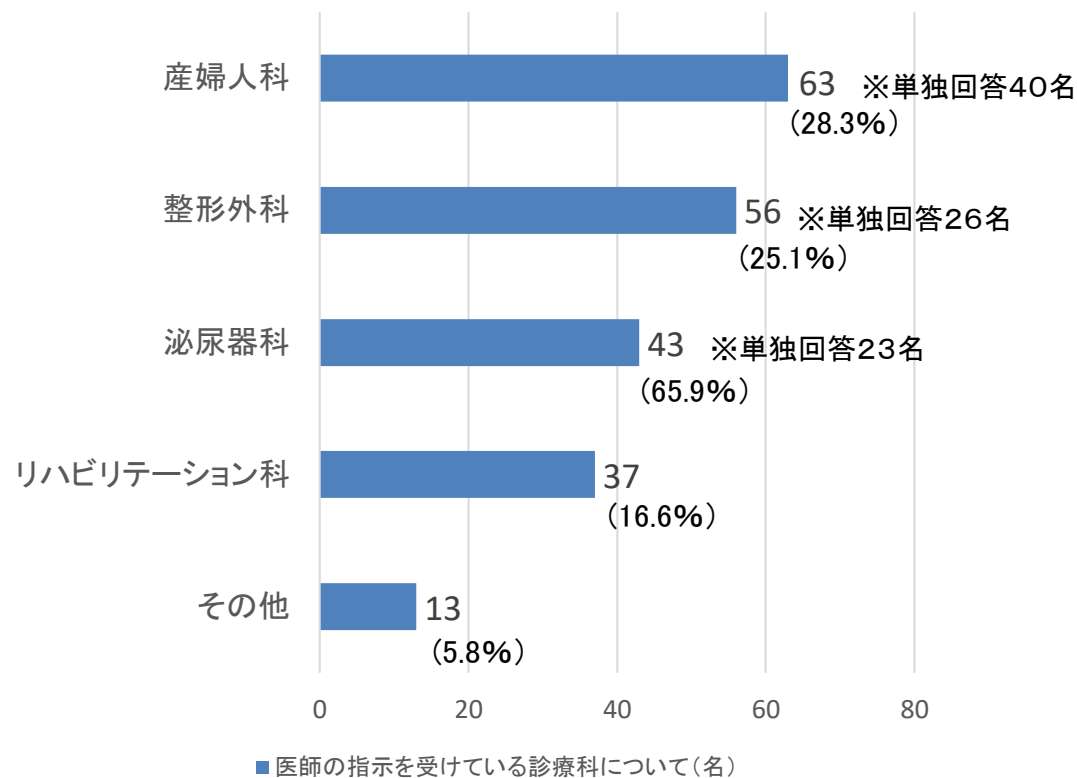
回答者数: 223名 (全回答者の18.9%)

《その他の内訳》 ※複数回答

- ・ 集団や予防的なかかわりでは医師の指示なしで指導 6件
- ・ クリニック内では医師の指示を受けている
- ・ 産婦人科では安静度のみの指示
- ・ 指示書のない口頭での依頼や指示
- ・ 指導を受けて実践している

実施状況の結果と併せてみると、医療保険外でも医師の指示を受けているケースがある反面、指示なく指導に留まるケースも存在していた。

7) 医師の指示を受けている診療科について



対象者数:223名 ※すでに実践していると回答した人

回答者数:185名(全回答者の15.7%)

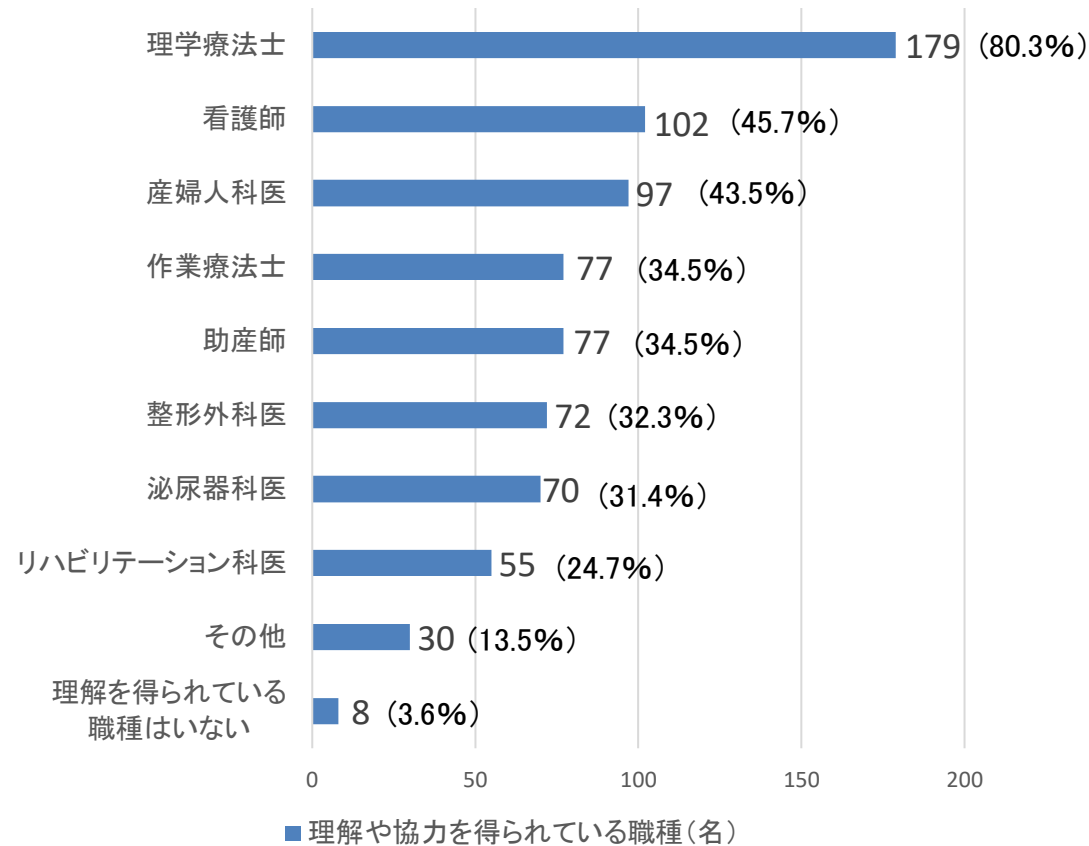
※医師の指示なし33名を除く

《その他の内訳》※複数回答

- ・大腸肛門外科
- ・乳腺外科
- ・消化器外科
- ・脳神経外科
- ・婦人科
- ・ウロギネコロジー科
- ・放射線科
- ・小児外科
- ・糖尿病内科等

産婦人科医の回答が最も多く、また複数の診療科からの指示も多かった。診療科は、各外科など多岐に渡っていた。

8) 実践する際に理解や協力を得られている職種



対象者数: 223名 ※すでに実践していると回答した人

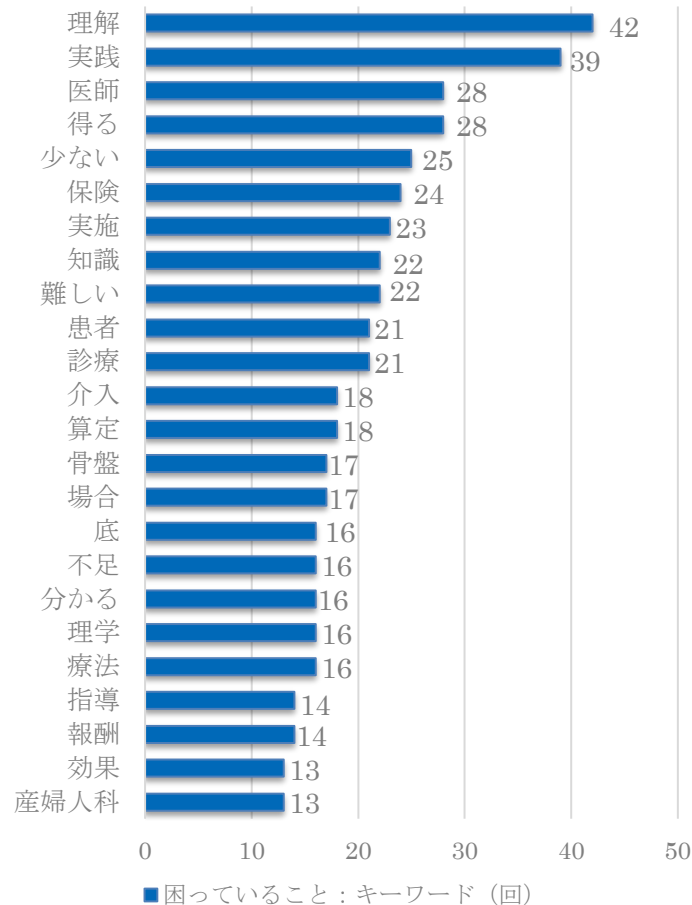
回答者数: 223名 (全回答者の18.9%)

《その他の内訳》 ※複数回答

- ・ 保健師 — 10件
- ・ 医師 — 9件
(内科医、消化器外科医、肛門科、乳腺外科、精神科等)
- ・ 保育士 — 2件
- ・ 排泄指導相談員、臨床検査技師、トレーナー、
医事課受付、介護助手 — 各1件

実践している人の80%が理学療法士の理解を得ており、各職場において多職種の理解や協力の元、実践していることが伺える。

8) 実践する際に困っていること



回答者数: 386名(全回答者の32.8%)

自由記載の内容をKHCoderで分析し、抽出したキーワードについて検証した。

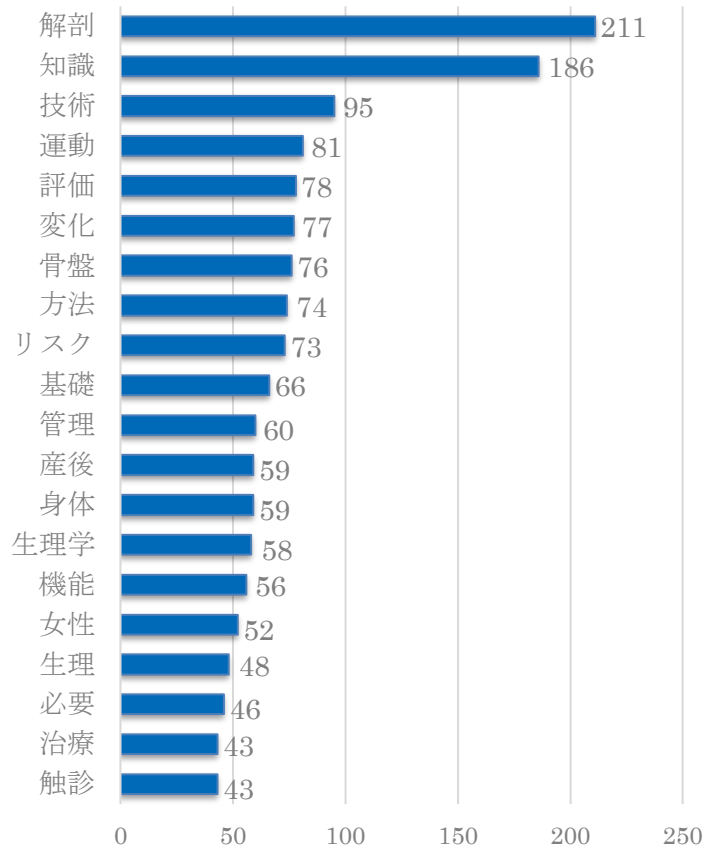
- ・理解 (42回): 「医師の理解」、「周囲や職場、上司の理解」 6回
「必要性」や「メンズヘルスの理解」等
- ・実践 (39回): 「実践したいがどのように実践すればいいかわからない」、
「実践方法」「実践施設」など実践する際の課題の記載が目立つ
- ・医師 (28回): 「医師の理解」、「医師の指示」、「医師の協力」、「医師の処方」等
- ・得る (28回): 「理解が得られない」(22回)、「効果を得る」「同意を得る」等
- ・少ない (25回): 機会、実践や相談の場、求人、情報、エビデンス、経験について

実践している人: 「保険」「理解」「患者」「診療」→保険診療や診療報酬、患者への介入
における性差や対象患者の「抽出等

実践したいと思っている人: 「具体的な実践方法」「医師の理解や指示」「他職種の理解
を得る」「実践の機会や求人、情報、エビデンスが少ない」等

すでに実践している人と実践したいと思っている人で記載内容に違いが見られたが、「理解」を得ることが課題の一つであることが示唆された。

9) 実践する際に必要な知識や技術



■ 実践に必要な知識や技術：キーワード (回)

回答者数：803名(全回答者の68.2%)

自由記載の内容をKHCoderで分析し、抽出したキーワードについて検証した。

・解剖 — 「解剖」(97回)、「解剖学」(76回)、「解剖生理」(12回)、「機能解剖」(11回)等

・知識 — 実践している人 → 具体的な専門知識

実践したい人 → 基礎的な知識

・運動 — 「運動学」(37回)、「運動療法」(10回)、「運動指導」、「運動強度」等

・評価 — 「評価方法」(11回)、「評価技術」「本領域特融の評価」等

・変化 — 「妊娠・出産に伴う産前産後の身体的変化」(50回)、

「ライフステージによる身体変化」(26回)

実践している人：「知識」(42回)、「解剖」(40回)、「技術」(38回)、「骨盤」(36回)、

「リスク」(28回)

実践したいと思っている人：「解剖」(160回)、「知識」(131回)、「技術」(50回)

すでに実践している人と実践したいと思っている人で記載内容に違いが見られた。

9) 実践状況の考察

- ・すでに実践している人は、回答者の約20%にとどまったが、回答者の約70%が今後実践したいと思っていることが明らかになった。
- ・回答者の中でWH領域に興味を持つ人が多く、すでに実践している領域も、WH領域が多いことも示唆された。
- ・今後実践したいと思っている人は、男性はWH・MH両領域、女性はWH領域での実践を考えていることが示唆された。
- ・すでに実践している人の約60%は、医療保険内で医師の指示を受けて実践していることが示唆された。
- ・すでに実践している人は、職場や他職種の理解を得ており、実践したいと考えている人も、周囲の理解を得ることが課題になっていることが示唆された。
- ・実践する際に必要な知識については、すでに実践している人と実践したいと考えている人それぞれに課題があることが示唆された。